

団体名：苫小牧溶接協会
北海道機械工業会苫小牧支部
苫小牧電業協会
苫小牧電気工事業協同組合
回答日：令和元年8月14日

要望書（回答）

道立苫小牧高等技術専門学院においては、地元関連業種への就職意欲の高い生徒が多く、訓練内容も各種資格取得はもとより、職業意識の向上や必要な技能の習得がなされ、貴重な若手技術者の育成の場となっていること。

この学院は、昭和40年開設以来、これまで5千人以上が修了し、平成29年度からは、道が地域の関係業界の要請に応じて2年制過程を導入し、将来、企業の中核を担う、より高度な技術者を輩出する体制が整備されたもので、今後とも関係業界のみならず地域にとっても、必要不可欠な職業能力開発施設と認識。

しかしながら、高等学校卒業生の減少や、人手不足による求人倍率の上昇などにより、近年の入校者は減少の一途を辿っており、本年度入校生は、1学年定員30名に対し、3科計8名に留まったところ。

一方、室蘭市、北見市においては、それぞれの技術専門学院の入校者が減少している状況を踏まえ、生徒に対する資金援助など、バックアップ体制づくりを進めている。

このため、当市においても、入校生が安心して職業訓練を行えるよう、さらに保護者の理解を得て入校促進が図られるよう助成制度の創設を行うこと。

【回答】（産業経済部 工業・雇用振興課 担当）

生産年齢人口の減少に伴う近年の地元企業における人手不足の状況は深刻であり、建設業を対象とした若者人材育成事業のほか、合同就職説明会の開催、就職マッチングサイト「とまジョブ」の開設、離職防止等処遇改善事業など、雇用対策にかかわる様々な事業を実施しています。

道立苫小牧高等技術専門学院は、地元における重要な技術者養成機関として、市内企業への人材確保や求職者の雇用確保に一定の役割を担っており、市としましてはこれまでの入校生募集に係る周知協力を行ってきたところですが、更に入校生確保に向けて協力していきたいと考えます。